

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第24号 平成27年10月3日

守備の判断が2回の大量失点に繋がる・・・

投手乱調と相手打線にRT1回戦沈没・・・

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
C	0	7	0	1	1	1			10
G	2	0	0	0	0	1			3



昨年のリベンジを果たすべく、SCLRT1回戦を南千住野球場に向き、CLUTHと戦った。先攻はCLUTH、マウンドには光希が上がりプレイボール。最近制球にやや難が有る彼だが、今日はどんなピッチングを披露してくれるか楽しみである。その立ち上がりは、空三振の立ち上がり、そして、二番にも同様な空三振、しかし、3番には、中前に運ばれ出塁を許すも、4番を投ゴロに斬り、素晴らしい内容で初回を終えた。その裏の攻撃、今日先頭に入った祐介が粘って四球を選択、そして二盗を決める。2番丸山がこの祐介を三塁に進める。そして3番哲也がさっぱり中前適時打で三塁より、祐介を迎え入れ先制。4番は5FCで打者走者も塁に残る。ここで初回に好投を見せた光希が打席に入る。その結果は2球目を一二安打で、二塁より哲也を迎え入れる適時打、更には、一塁より、祐太郎もホームを狙うが、ここは、惜しくもホームでアウトになり3点目ならず、結果、次打者が倒れ、得点は2点止まりであった。翌2回に今日のゲームを決めたビッグinningが相手チームに訪れた。この回先頭に四球で出塁を許す、そして続く二打者に連続安打を喫し1失点。続く打者は二ゴロに斬るも、これは併殺と行きたかった打球。しかし、次打者は空三振に斬り二死としたが、ここから、3与四球に長短打3本が絡まり、この回7失点とし、流は完全に相手に行った。その後は、チームのバットは湿る。相手は、4回に、無安打で1点追加。更には、翌5回にもソロHRで1点を失点。最終回には、お互いに1点づつを挙げても、ゲーム有り、昨年のRTリベンジは果たせず、初戦敗退となった。振り返ってみると、今日のゲームのキーに成りうる守備があった。2回の一死とした二ゴロだが、4-6-3と行けた可能性が有るプレーだっただけに、チャレンジしても良かった内容かも知れない。ましてや、次打者を空三振に斬っただけに、何とも言えない結末である。一つづつアウトを積み重ねる事は、野球のセオリー、しかし、そこにチャンスが有れば、チャレンジしなければ、そのチャンスは手中に出来ない。区民も厳しい戦いになる事は見えている、やはり、そんな中、セオリー+チャレンジで、ゲームの流れを呼ぶのも、チームとして、非常に重要な内容かも知れない、と映像から感じました。